

2017年7月28日
東京ガス株式会社

2018年3月期第1四半期決算説明会
主なQ&A

- Q1：通期の利益610億円は、第1四半期の利益の割には控えめに感じるが、第2四半期以降の想定について教えてほしい。
- A1：今回の見通し策定については経済フレーム、ガス販売量、電力販売量は、足元の第1四半期の変化要素のみを盛り込んでいる。第2四半期以降は変化要素が読めないため、脱落等の前提条件は当初計画から変えていない。
- Q2：第1四半期の海外セグメントの対前年+7億円は、ゴーゴンによる影響だけか。また、年度見通しの対当初計画▲8億円の要因と内訳を教えてほしい。
- A2：第1四半期の対前年増の理由は主にゴーゴンLNG販売開始によるもの。年度見通しの対当初計画減の内訳は、①原油価格低下による販売単価減、②上流プロジェクト減価償却費増等、③新規上流案件出資等による持分法利益増であり、それぞれ一桁億円程度の増減となっている。
- Q3：通期見通しの営業外損益（持分法損益を除く）が対見通しで+23億円となっているが、内訳を教えてほしい。
- A3：受取配当金増+8億円のほか、細かい要素の積み上げとなっている。

以上